

Low Down Spring

ローダウンスプリング No. MND7000A

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ローダウンスプリングをお買い上げいただき、ありがとうございます。本書は、本製品を車両に取付ける前に行う作業、取付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には、本書にしたがって作業を進めていただきますようお願いいたします。また、作業終了時には、本書をお客様にお渡し頂き、車検証などと共に大切に保管されますようお願いいたします。

取付上の注意事項 : ⚠ **警告** (人的には死亡または重傷、物的には重大な損害の発生する可能性がある場合。)

1. 適合車種以外への取付けは絶対に行わないでください。
2. 当製品の取付け作業に関しては、設備の整った専門工場で資格を持った整備士の方が行ってください。
3. 走行直後はエンジンやブレーキ周辺パーツが高温になります。作業中の火傷防止のため各部が完全に冷えたことを確認してから作業を行ってください。
4. ジャッキアップする際は必ずリジットラックなどを用い、自動車メーカー指定の位置で確実に車両を固定してください。
5. スプリングコンプレッサー使用時は、コイルスプリングが傷付かないようウエス等を介して取付け、円周上を均一に圧縮してください。また、作業中の事故防止のため慎重に作業を行ってください。
6. ピストンロッドナットはスプリングコンプレッサーでコイルスプリングを圧縮した後に取外してください。コイルスプリングを圧縮する前にピストンロッドナットを取外すと、コイルスプリングが飛出し、部品の損傷および死傷事故につながる恐れがあります。
7. パーツリスト以外の部品を使用した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。指示のない部品は、必ずマツダ純正部品をご使用ください。
8. 製品の改造、加工は絶対に行わないでください。この事により発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

取付上の注意事項 : ⚠ **注意** (人的または、物的に損害が発生する可能性が想定される場合。)

1. 本製品の取付けに際しては、マツダ(株)発行の整備書を参考に作業を行ってください。
2. ハーネス・カプラーなどは破損・断線に注意しながら取外し、保管してください。
3. 一時的に取外す部品は、位置を誤って装着しないようマーキング等をしながらか注意して取外してください。
4. ボルト・ナットの締付けは、整備書に記載の指定トルクで確実に締付けてください。

スプリング取付け時の留意点 ※重要事項につき作業前に必ずご確認ください。

1. 取付・取扱説明書に指示がある場合を除き、バンプストッパーは必ず純正品をそのまま使用してください。バンプストッパーをカットしたり、純正品以外のものに交換すると、車高が規定値まで下がらない(下がりすぎる)、または乗り心地が悪化するなどの不具合が発生する原因となります。
2. 再使用する純正部品(アッパーマウント、スプリングシート、ショックアブソーバー、ダストブーツなど)に劣化が見られる場合は、必ず新品に交換してください。劣化したまま再使用すると、車高や乗り心地に問題が生じたり、異音が発生したりする原因となります。
3. 純正スプリングに異音防止用のチューブが取付けされている場合は、ローダウンスプリングの同じ位置に必ず移設してください。この作業を怠ると、サスペンション伸縮時などに異音が発生する原因となります。
4. 製品取付け後はスプリングが遊んでいないこと、また最低地上高および灯火類の高さが保安基準に適合しているかを必ず確認してください。
5. 製品取付け後は、車高のダウンに伴い各サスペンションアームの取付け角度が変化するため、ラバーブッシュが使用されているサスペンションジョイント部は、車両をリフトアップした状態で取付ボルト/ナットを一旦緩め、水平な地面に車両を接地させ車重(1G荷重)を掛けた状態で整備書記載の規定トルクで本締めしてください。この作業を怠ると、車高が規定値まで下がらない、または乗り心地が悪化するなどの不具合が発生する場合があります。
6. 製品取付け後は、車高ダウンに伴いホイールアライメントとヘッドライトの光軸が変化しますので、ヘッドライトオートレベリングシステム初期設定とヘッドライトエーミング調整を行ってください。

お客様へご使用上の注意事項

1. 適正なダウン量が得られるまで(車高が落ち着くまで)に多少の走行距離を要する場合があります。
2. 車高のダウン量は、装着する車両の装備重量や個体差などにより、弊社公開の数値とは異なる場合があります。
3. 製品取付け後は車高が下がります。道路の段差や駐車場の縁石に車体下部(アンダーカバー/マフラーなど)が接触しやすくなりますので、運転には十分にご注意ください。
4. 製品取付け後は走行性能が変わります。クルマの動きに慣れるまでは十分に注意し、急激な操作を避けてください。
5. 走行中に異常を感じた場合は直ちに安全な場所に停車し、よく点検してください。異常が発生したまま運転を継続しないでください。

適合車種

ロードスター (ND5RC)

構成部品

No.	部品名称	仕様	数量
①	コイルスプリング(フロント)	線径 $\Phi 11.5$ ばね定数 26.2N/mm	2
②	コイルスプリング(リア)	線径 $\Phi 10.0$ ばね定数 14.1N/mm	2
③	取付・取扱説明書	本書	1

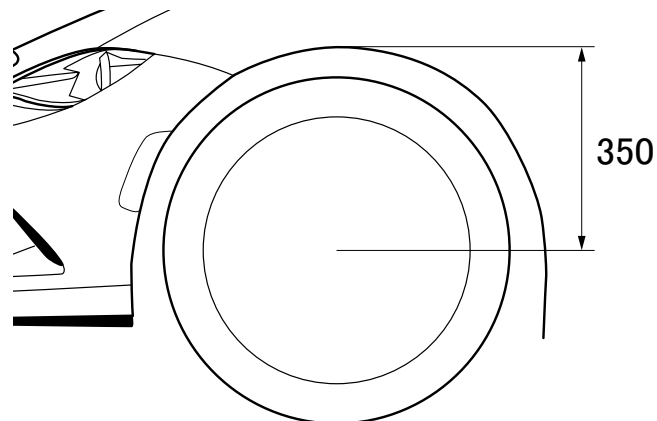
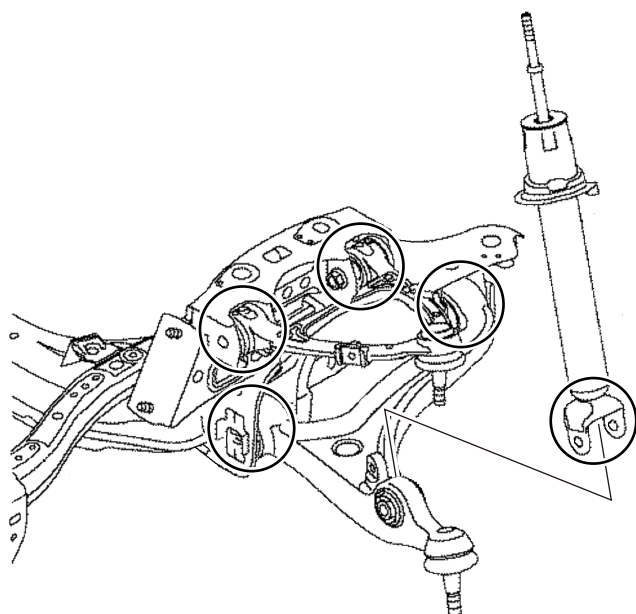
装着作業

【フロント側】

1. スタビライザーコントロールリンクのロアアーム側接続部を左右とも取外します。
2. 図1 ○印のジョイント部のボルト／ナットを、サスペンションブッシュがフリーになるまで緩めます。
2. 整備書を参照し、フロントコイルスプリングを取外します。
2. 純正スプリングの取付けと同様の手順で①コイルスプリング(フロント)をショックアブソーバーに組付けます。
3. フロントショックアブソーバーASSYを車両に仮組みします。
4. 図2を参照し、ロアアームなどにジャッキ掛け、フェンダー端面からホイール中心までの距離が350mmになる位置まで持ち上げます。
5. その状態で、図1 ○印のジョイント部のボルト／ナットを、規定トルクで本締めします。(1G荷重締め)
6. スタビライザーコントロールリンクのロアアーム側接続部を取付けます。

図1

図2



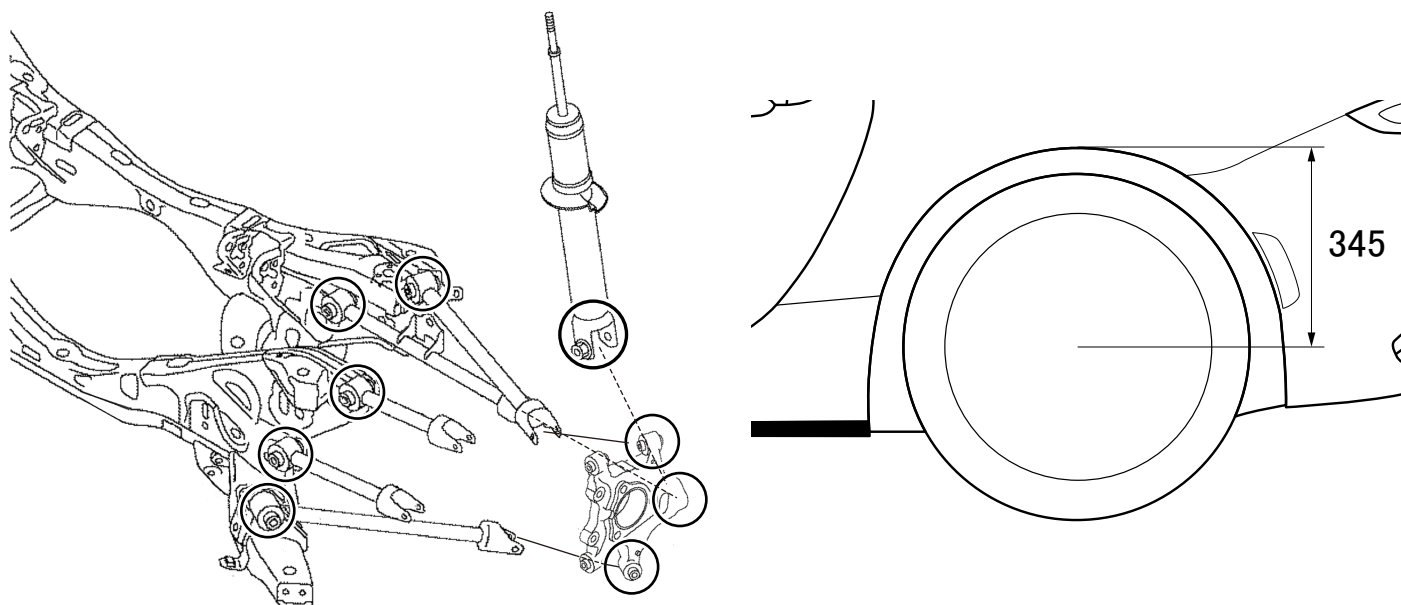
※1G荷重締め ○印部片輪5箇所(両輪合計10箇所)

【リア側】

1. 【リアスタビ付車】スタビライザーコントロールリンクのロアアーム側接続部を左右とも取外します。
2. 図1 ○印のジョイント部のボルト／ナットを、サスペンションブッシュがフリーになるまで緩めます。
2. 整備書を参照し、リアコイルスプリングを取外します。
2. 純正スプリングの取付けと同様の手順で②コイルスプリング(リア)をショックアブソーバーに組付けます。
3. リアショックアブソーバーASSYを車両に仮組みします。
4. 図2を参照し、ロアアームなどにジャッキ掛け、フェンダー端面からホイール中心までの距離が345mmになる位置まで持ち上げます。
5. その状態で、図1 ○印のジョイント部のボルト／ナットを、規定トルクで本締めします。(1G荷重締め)
6. スタビライザーコントロールリンクのロアアーム側接続部を取付けます。

図1

図2



※1G荷重締め ○印部片輪9箇所（両輪合計18箇所）
 （リアアッパートレーリングリンクのメンバー側を除くすべての箇所）

【取付後の作業】

1. フロントホイールアライメントおよびリヤホイールアライメントを点検し、必要であれば調整を行います。
2. 整備書を参照し、ヘッドライトオートレベリングシステム初期設定を行います。